

## 研究テーマ 「長所を使ってなりたい自分になろう」

1

## 本実践に関連する児童の実態

対象児童 小学校第5学年

### ○課題

- ・自分を大きく見せようとして、作話が出ることがある。
- ・自分の立てた目標が高すぎて、達成できずにパニックになることがある。
- ・周りの環境に影響されやすい。特に、よくない行動は刺激が強く、真似てしまう。

### ○強み

- ・模倣が上手で、上達につながっている。  
(運動、趣味、学習の仕方、農作業など)
- ・手伝いや、人に教えることが好きである。
- ・人に優しくしたり、優しくされたりするのが好きである。
- ・礼儀正しい挨拶ができる。進んで発表する。

2

## 指導目標・指導仮説

教科等及び単元(題材)名  
自立活動「なりたい自分になるための計画を立てよう」

目標(本実践終了時の期待する子供の姿)  
なりたい自分になるために、長所を生かして行動しようとする。

### 指導仮説

「○○さんみたいになりたい」とモデルを決めることで、長所である模倣上手が生かされるであろう。また、自分の長所(よさ)を知ることで自信をもち、めざす自分を意識して行動しようとすることができるようになるだろう。

児童の実態

3

## 指導・評価の計画

◆表1 指導・評価の計画

	主な学習活動	目標	評価方法
1次	自分の長所を見つける。	自分の長所や友だちの長所を見つけることができる。	ワークシート
2次	なりたい自分になるための計画を立てる。	来年度に向けてめざす自分になるために、モデル、やりたいこと、手伝ってもらいたいことを考えることができる。	ワークシート
3次	実践し、振り返る。	考えたことを実践し、善悪の判断をしてめざす自分に近づこうと行動しようとする。	発言・行動 チェックシート

◆表2 実践前後の変容の評価

評価内容	評価方法
実践前後での発言や行動	発言・行動 チェックシート

4

## 指導の実際①

### 自分や友だちの長所を見つける活動

自分の長所を見つけることが難しい児童がいたので、友だちの長所を見つけて寄せ書きのように書いた。

#### 友だちからの寄せ書き

4月からの自分に向けて計画を立てよう

自分のよさ(長所)

やさしいところ  
・物まねが上手  
・手伝いをよくする  
・物を作ったり、カ仕事をしたりするのが上手  
・自分の長所を、友だちに見つけていた。

#### 友だちに書いたもの

4月からの友だちに向けて計画を立てよう

自分のよさ(長所)

やさしいところ  
やさしい  
よく働く(努力のた)  
元気か!!!  
? (ここで自分の長所を書いた)

優しい、物まねが上手、手伝いをよくする、物を作ったり、カ仕事をしたりするのが上手などの長所を、友だちは見つけていた。

どの友だちにも、「優しい」と書いていた。

5

## 指導の実際②

### なりたい自分になるための計画をたてる活動

モデルになる人を選びながら、なりたい自分、めざす自分になるために頑張りたいこと、友だちに協力してもらいたいことを考えた。

なりたい自分

野球 リーダー

その人(モデル)ががんばっていること

頑張りたいこと

「がんばりたいこと」には、A君の助言により裏方を頑張る。あきらめず継続する。などを書いた。

「協力してほしいこと」には、一緒に遊んでほしい(もっと友だちと関わりたい)と書いた。

モデルは6年生のA君。リーダーとして行動を引き継ぎたいと書いた。

「がんばりたいこと」には、A君の助言により裏方を頑張る。あきらめず継続する。などを書いた。

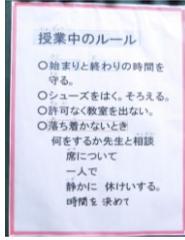
「協力してほしいこと」には、一緒に遊んでほしい(もっと友だちと関わりたい)と書いた。

6

### 指導の実際③



みんなのために協力した  
考えた  
行動したなど  
リーダーとしての行動を〇〇賞にして  
カレンダーに貼った。



困ったときには相談すればよいこ  
とを、日頃から知らせておいた。

### 指導の実際④

#### 活動場面



てきばき行動するA君をモデルに、「裏方を頑張る」と書いた通り、準備や後片付けに進んで取り組む姿が見られた。

#### 振り返りチェックシート

当てはまるほうに○をつけましょう。

自分の長所がわかる。	はい	いいね
がんばりたいことがある。	はい	いいね
しょうがないことがある。	はい	いいね
思い通りにいかないことがある。	はい	いいね
自分に自信が持てる。	はい	いいね
頑張っていて、みんなの手伝いもしている。	はい	いいね

全項目を肯定的に自己評価していた。

### 学習過程の評価

次	学習活動	児童の状況	達成状況
1	自分の長所を見つける。	自分の長所をなかなか見つけられなかったが、友だちの長所については、すぐに見つけて進んで書いた。友だちが書いてくれた自分の長所を読んで、「確かに。」と嬉しそうなお顔をしていた。	◎
2	なりたい自分になるための計画を立てる。	好きな野球を中心に、好きなA君をモデルにして、進んで計画を立てることができた。目立たない活動も頑張り、友だちを裏でも支えるリーダーになりたいと書いた。	○
3	実践し、振り返る。	自立活動の時間、準備や後片付けが一番最初に取り掛かった。チェックシートの結果から、目標達成に向けての意欲が見られた。	○

### 実践前後での児童の変容

実践前	実践後
<ul style="list-style-type: none"> <li>「楽しそう」と感じたら、善悪の判断をしないままに真似をしてしまう。</li> <li>頑張りたいことが定まらず、なげやりだった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優しい、手伝ってくれる、力仕事が出来るとの長所を友だちから書いてもらってからは、行動が少しずつ落ち着いてきた。</li> <li>A君の行動や助言から地味な練習や裏方の仕事も大事だということを知り、A君が卒業したら自分がリーダー役を引き継ぐと決めてから、学習や生活態度に落ち着きが見られるようになってきた。</li> </ul>

### 指導仮説の検証

- 児童は目標を達成したか。
  - ・達成してきている。
- 判断の理由・根拠
  - ・自分の長所や頑張りたいことを見つけ、生活や学習に落ち着きが見られるようになってきた。

- 指導の工夫は有効であったか
  - ・有効であった。
- 判断の理由・根拠
  - ・A君をめざす自分のモデルにすることで、模倣上手である長所を生かし、目標や頑張りたいことを見つけることができた。
  - ・自分の長所を友だちに書いてもらったことで、友だちから認められていると感じ、長所である「手伝い」「力仕事」をみんなのために役立つようとする姿が見られた。
  - ・自分の行動がカレンダーに貼られると、続けて頑張ることができた。

### 指導の改善案

成果（よかった点）	課題（改善が必要な点）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・めざすモデルを決めることで、長所である模倣上手を生かすことができ、目標に向けて活動しやすかった。</li> <li>・自分の長所を見つけ、友だちから認められたことで、自己肯定感が高まった。</li> <li>・目標をもち、気持ちが落ち着いてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人に協力や助けを求めることがまだ難しい。一人で頑張ろうとす過ぎて、パニックになることがある。</li> </ul>

#### 成果・課題を踏まえた改善案

- ・なりたい自分について考えたことを発表し、友だちのためにできることを話し合う（書き合う）活動を入れる。この活動を入れることで、助け合って目標を達成しようとする学級をめざす。